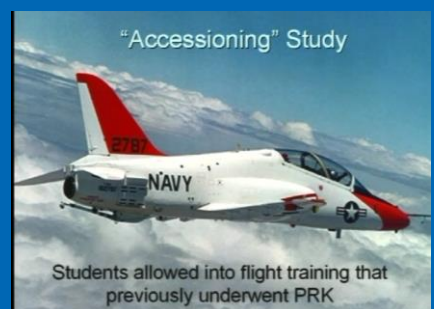
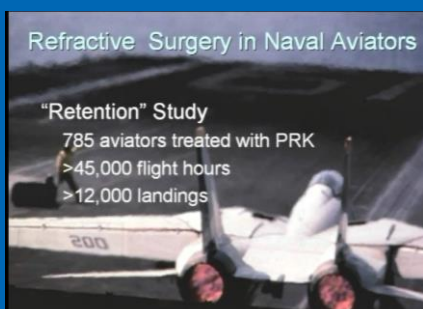


レーザー近視矯正手術 iLASIK

米国NASA局医療センター長が語るレーシック手術の最新情報

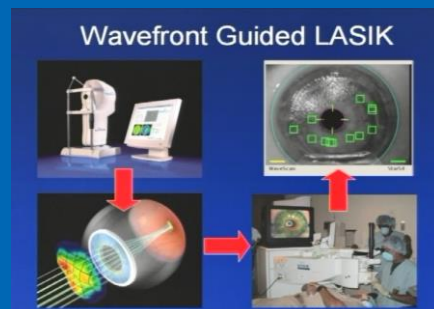
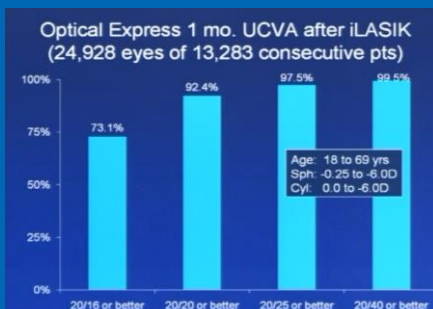


アメリカNASA局医療センター長、元米軍パイロット Steven Schallhorn 医師



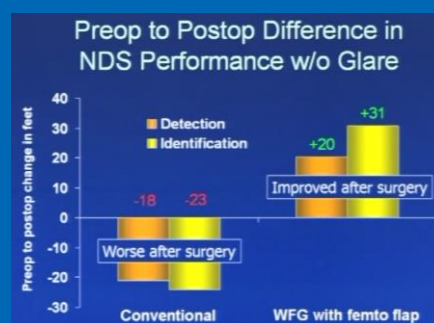
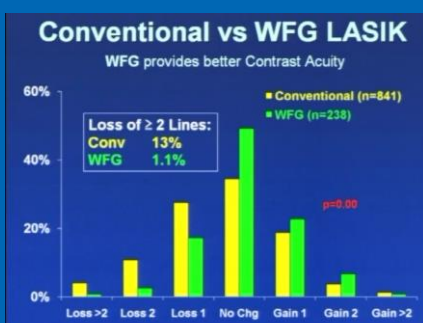
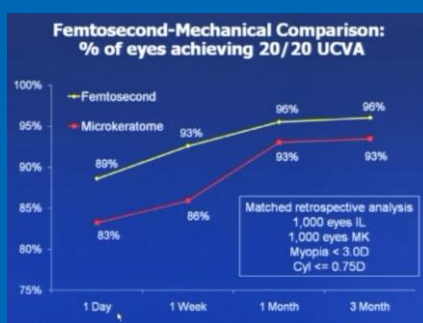
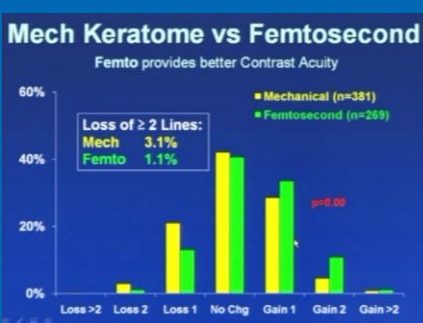
NASAは優秀な宇宙飛行士を確保するため、以前から近視矯正レーシック技術に高い関心を持っていた。

大規模な症例検討、航空パイロットの特殊で過酷な環境に適した視機能について研究を行った。



さらに、夜間視力、ドライビング視機能について通常レーシックとWavefront-Guided 技術 (iLASIK)を比較検討。

i LASIKの術後裸眼視力1.0以上の割合は92.4%、0.8以上の割合は97.5%と極めて高い矯正精度を示す。



フェムトレーザーレーシック(当院採用)は通常レーシックより早期に、よりよい視機能の回復を認める。

i LASIK 技術(当院採用)は通常レーシックより術後コントラスト低下せず、夜間視機能の改善を認める。

当院では、最新 i LASIKの技術によって安全、安心なレーザー近視矯正手術を提供します。

裸眼で生活したい方、是非ご相談ください。

はなみずき眼科